

エコアイランド宮古島宣言 2.0 ゴール（指標）の設定について

宮古島市は、平成30年3月30日に「エコアイランド宮古島宣言 2.0」を発表しました。この新たな宣言では、2030年、2050年に目指すべきエコアイランド宮古島の姿をゴール（指標）として設定することとしており、ゴールの素案を公表しました。その後、1年間の検討を通じて、今般、ゴール（指標）を設定しましたので、公表します。

なお、現在、世界的な潮流として、持続可能な開発目標「SDGs」※の取り組みが国内外の様々な地域において進められており、今回設定するゴール（指標）については、宮古島市版 SDGs の取り組みとして位置づけるものであり、持続可能な島づくりの指針となるものです。

1. 趣旨

当初の宣言から10年が経過し、「エコアイランド宮古島」という言葉は浸透しつつあるものの、市民の皆様が抱くイメージにはばらつきがあります。特に

- エコアイランドとは何かよく分からない。
- 自分たちの生活とは関わりを感じられない。
- 重要性は理解できるが、どう関わればいいかが分からない。

といった声が多くある中で、市民主体の持続的な取り組みに繋げていくためには、エコアイランド宮古島を再定義し、ビジョンを改めて明確化する必要があると考えました。

2. エコアイランド宮古島宣言 2.0 の概要

エコアイランド宮古島宣言 2.0（以下、「エコ宣言 2.0」）の策定にあたっては、市民の皆様と目指す未来像を共有することを重視し、以下3つのコンセプトを設定しました。

- ① イメージを共有：標語「千年先の、未来へ。」を設定（H30.3）
- ② ゴールを設定：2030年・2050年の目標を設定、未来像を具体化（H31.3）
- ③ ターゲットを絞り込む（総花的にしない）

3. 検討経緯

平成30年3月にエコ宣言 2.0 の発表をした際に、当初のゴール案を公表し、その後、エコアイランド宮古島推進計画検討委員会等における審議や専門家からの意見聴取を経て、案の策定作業を進めてきました。

- H30.3 エコ宣言 2.0 発表（指標素案の公表）
H30.7～H31.1 エコ推進計画検討委員会・検討部会での審議。専門家意見聴取等
H31.2 市民意見募集（パブリックコメント）
H31.2～H31.3 エコアイランド宮古島推進本部

4. ゴールの設定

ゴールの設定に当たっては、本市の持続可能性にとって特徴的であり、市民の皆様イメージしやすいテーマを5つ選択しました。また、2050年の目標に関しては、エコアイランド宮古島のゴールとして、敢えて高い理想的な目標を設定しており、市民や事業者の皆様とともに、一体となってそのゴールを目指していきたいと考えています。

ゴール①：地下水水質・窒素濃度

ゴール②：1人1日当たり家庭系ごみ排出量

ゴール③：エネルギー自給率

ゴール④：サンゴ被度

ゴール⑤：固有種の保全

※詳細は別添資料参照

5. 具体的な対策

設定した目標の達成に向けては、具体的な対策をエコアイランド宮古島推進計画に位置づけるとともに、毎年同計画を更新することで、進捗の確認を行います。

※SDGs：SDGsは、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標であり、17のゴールと169のターゲットにより構成されるもの。

以 上

【お問い合わせ先】 宮古島市企画政策部エコアイランド推進課 三上

電話：0980-73-0950（課直通）